

初期研修カリキュラム

診療グループ [病理診断科]

カリキュラム責任者：近藤 譲

一般目標 (GIO) :

病理診断学に必要な知識、技能、態度を身につける。

個別目標 (SBOs) :

I 必要な知識

1) 病理業務に必要な知識

1. 病理業務に関連する法および制度を理解する。
2. 病理業務に関するリスクマネジメントを理解する。

2) 病理診断に必要な知識

1. 基本的な病理組織標本の作製過程を理解する。
2. 免疫染色を含む特殊染色の原理を理解し、結果を評価できる。
3. 遺伝子異常の検索の原理を理解し、結果を評価できる。
4. 病理診断に必要な臨床的事項を的確に判断することができる。

II 必要な技能

1. 指導医の監督下で病理解剖を執刀することができる。
2. 病理解剖報告書を作成することができる。
3. 生検、手術材料の病理診断報告書を作成することができる。
4. 細胞診材料の報告書を作成することができる。
5. 迅速病理診断において良悪性判定をし、適切な報告をすることができる。
6. 基本的な病理組織標本を作成することができる。
7. CPC や臨床とのカンファレンスにおいて、病理所見を的確に説明することができる。

III 求められる態度

1. 生検診断、剖検および CPC などの際して患者や遺族に対する配慮ができる。
2. 病理業務において、臨床医との適切な対応ができる。
3. 病理業務に関してコメディカルと協調できる。

方略(LS) :

1. マクロ所見観察、切り出し、鏡検業務を指導医の監督下あるいは指導医と一緒に行う。
2. 指導医とともに術中迅速診断および細胞診業務に参加する。
3. 各診療科とのカンファレンス、剖検検討会 CPC 等に参加し、発表する。
4. 病理解剖において指導医の監督下で執刀し、病理解剖報告書を作成する。
5. 症例研究や臨床病理学的研究を行って、研究会、学会などで成果を発表する。

評価(Ev) :

- ・ローテーション中に養成コース長による面接評価を行う。